

参加者 募集

平成 29 年度 かながわ災害福祉広域支援ネットワーク 研修（講演・演習）

～大規模災害発生時の福祉的支援とは～

対象

「かながわ災害福祉広域支援ネットワーク」構成団体^(※1)の会員、
県・市町村職員、県・市町村社会福祉協議会職員 等

事前申込制
参加費無料

講演・パネルディスカッション^(※2)

定員
300 名

平成 30 年 1 月 25 日(木) 10 時～16 時 30 分 パシフィコ横浜 会議センター 5 階 501・502

➤基調講演「近年の自然災害と要援護者支援の状況」

石川 永子 氏（横浜市立大学国際総合科学部准教授）

➤パネルディスカッション「災害発生、そのときどう動くか～熊本地震に学ぶ～」

趣旨説明 浦野 正男 氏（(福)中心会理事長）

実践報告 建川 美徳 氏（(福)湧水会(熊本市)さくらんぼ保育園園長）

甲斐 正法 氏（(福)慶信会(熊本市)城南学園・第二城南学園事務局長）

宮野 義隆 氏（(福)セイワ 介護老人保健施設みやうち 管理係長）※ 熊本地震へ災害派遣（福祉避難所の運営）

演習 I

（講義・グループワーク）

定員

各回 50 名

【横浜会場】

平成 30 年 1 月 12 日(金)

9 時 30 分～16 時

ウィリング横浜

501・502 会議室

【小田原会場】

平成 30 年 1 月 19 日(金)

9 時 30 分～16 時

県小田原合同庁舎

2D・2E 会議室

➤「ふだんの暮らし」再興のためのネットワーク

災害時に発生する地域課題の検討（要配慮者・支援者が抱える課題 等）

発災後の「ふだんの暮らし」再興のポイント（地域に必要な支援は何か？ 等）

「ふだん」からのネットワークのつながり（支援者になるための準備 等）

講師 東海林 崇 氏（PwCコンサルティング合同会社 マネージャー）

演習 II

（机上演習）

定員 50 名

※ 演習 II は、災害時に福祉避難所の施設管理者や市町村との調整を行う等、支援の中核的役割を担う予定の職員等を対象とします。

平成 30 年 2 月 5 日(月)

13 時～17 時

県社会福祉会館

第 3・第 4 研修室

➤福祉避難所開設の実際


福祉避難所とは？（講義）

福祉避難所の開設、運営、閉鎖まで（演習）
等

※1 平成 29 年 11 月 1 日現在、次の団体です。（順不動）

神奈川県、（一社）神奈川県高齢者福祉施設協議会、（一社）神奈川県老人保健施設協会、（公社）横浜市福祉事業経営者会、横浜知的障害関連施設協議会、（一社）相模原市高齢者福祉施設協議会、神奈川県身体障害施設協会、神奈川県知的障害福祉協会、（一社）神奈川県介護支援専門員協会、（公社）神奈川県介護福祉士会、（公社）神奈川県社会福祉士会、（福）神奈川県社会福祉協議会

※2 （福）神奈川県社会福祉協議会 経営者部会・施設部会「平成 29 年度社会福祉法人・施設職員災害対応研修会」としても開催するものです。

主催 神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課（受託； （福）神奈川県社会福祉協議会）

会場 MAP

●パシフィコ横浜



〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

- ▶みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩 5 分
- ▶J R 桜木町駅から徒歩 12 分

●ウィリング横浜



〒233-0002 横浜市港南区上大岡西 1-6-1

ゆめおおおかオフィスタワー内

- ▶京浜急行/横浜市営地下鉄上大岡駅から徒歩 5 分

●県小田原合同庁舎



〒250-0042 小田原市荻窪 350-1

- ▶小田原駅東口 2 番乗り場より伊豆箱根バス
市立病院または久野方面行き 小田原合同庁舎前下車
- ▶小田原駅西口から徒歩 15 分

●県社会福祉会館



〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

- ▶横浜駅から徒歩 15 分

※ 各会場とも駐車場のご用意はありません。

参加 申込

➤申込方法

別紙「申込書」に必要事項を記入の上、ファクシミリにてお申込みください。**(FAX番号 045-312-6302)**

※ 「かながわ災害福祉広域支援ネットワーク」構成団体におかれましては、団体ごとにお取りまとめの上、お申し込みください。

➤申込締切

平成29年12月25日(月)

➤その他

- ・ 先着順のため、定員を超えた場合のみ、お受けできない旨ご連絡いたします。
- ・ ご記入いただいた情報につきましては、本ネットワーク研修の開催に関すること以外には使用いたしません。